

## 第9章 図書館および図書館の資料、学術情報

(本学図書館の基礎データ)

本章の記述に先だって、報告の論拠として作成した8つの表の説明をしておきたい。

表9-1から表9-6は、最新版(平成13年度版)の「大学図書館実態調査結果報告」(文部科学省研究振興局情報課、平成14年3月)記載の統計データを基準にして、それに本学のデータを対照したものである。この報告書は国立大学99校、公立大学74校、私立大学497校から提出されたデータを文部科学省研究振興局情報課が集計したものである。本稿が使用したのは報告書記載のデータのうち、総平均(全国国公立大学670校の平均)、私大平均(私大497校の平均)、私大C平均(2~4学部で構成される私大201校の平均)である。4学部からなる本学に形態が一番近似するのは私大C平均だからである。(ちなみに私大Aは8学部以上、私大Bは5~7学部、私大Dは単科大学である)

データの集計日時は、2001年5月1日現在となっているが、この時点で確定しているのは総面積・座席数・職員数・学生数程度に限られ、図書等の資料に関わる数値の大部分は、調査時点の前年度(平成12年度、2000年度)の統計数値となる。これに対照される本学のデータは、この時の調査依頼に応じて、本学から文部科学省に提出したデータである。

表9-7と表9-8は、他大学のデータと対照する必要がないので、最新の統計数値(2002年12月2日現在)を記載した。

(図書等の体系的量的整備) ★126

本学の蔵書数は378,171冊で、この数値は私大C平均(273,974冊)、私大平均(298,043冊)を上回り、全大学の平均である総平均(380,223冊)に迫るものとなっている。本学の年間図書受入数は12,034冊で、私大C平均(10,823冊)、私大平均(10,776冊)、総平均(11,746冊)の全部を上回っている。また、本学の年間雑誌受入数は2,101種で、私大C平均(1,676種)、私大平均(1,767種)を上回り、総平均(2,285種)に迫るものとなっている。本学の資料費は100,858,000円で、総平均(115,623,000円)より下回るものの、私大C平均(85,310,000円)、私大平均(98,169,000円)の両方を上回っている。

本学の学生1名あたりの図書受入数は2.8冊で私大平均(2.5冊)を上回り、私大C平均(2.8冊)、総平均(2.8冊)と同数である。本学の学生1名あたり蔵書数は87.4冊で、総平均(89.4冊)よりわずかに低いものの、私大C平均(70.2冊)、私大平均(70.3冊)を上回っている。本学の学生1名あたり図書館資料費は23,300円で、私大C平均(21,900円)、私大平均(23,200円)は上回るが、総平均(27,200円)にはおよばない。(以上表9-1参照)

表9-1 大学図書館の実態

(2001年度)

	総面積・座席	蔵書数	図書受入数	雑誌受入数
私大平均	4,423m <sup>2</sup> 466席	298,043冊	10,776冊	1,767種
総平均	5,008m <sup>2</sup> 468席	380,223冊	11,746冊	2,285種
私大C平均	4,043m <sup>2</sup> 434席	273,974冊	10,823冊	1,676種
本学	5,811m <sup>2</sup> 414席	378,171冊	12,034冊	2,101種

	学生1名あたり申書受入数	学生1名あたり申書館資料費	学生1名あたり蔵書数
私大平均	2.5冊	23,200円	70.3冊
総平均	2.8冊	27,200円	89.4冊
私大C平均	2.8冊	21,900円	70.2冊
本学	2.8冊	23,300円	87.4冊

蔵書における洋書の割合は本学が27.5%で、私大C平均(28.1%)、私大平均(32.1%)、総平均(34.6%)に比べて和書の比率が高い。だが蔵書の絶対数でいえば、本学の洋書数は104,153冊であって、総平均(131,378冊)には及ばないが、私大C平均(76,894冊)、私大平均(95,625冊)は充分上回るものとなっている。ちなみに本学の和書は274,018冊で私大C平均(197,049冊)、私大平均(202,385冊)、総平均(248,809冊)の全部を上回っている。

本学の学術雑誌の総種類数は5,929種で、私大C平均(3,060種)、私大平均(3,408種)、総平均(5,016種)の全部を上回っている。しかし洋雑誌は705種で、私大C平均(797種)、私大平均(1,075種)、総平均(1,798種)の全部を下回っている。この結果は、本学の数値が年鑑白書の類を数に入れていないためで、それを入れると約1,000種となり、私大平均と同程度となる。(以上表9-2参照)

表9-2 大学図書館の蔵書数

	蔵書数(和書)	蔵書数(洋書)	全蔵書数	洋書の比率
私大平均	202,385冊	95,625冊	298,043冊	32.1%
総平均	248,809冊	131,378冊	380,223冊	34.6%
私大C平均	197,049冊	76,894冊	273,974冊	28.1%
本学	274,018冊	104,153冊	378,171冊	27.5%

	雑誌所蔵種類数(和)	雑誌所蔵種類数(洋)	全所蔵雑誌種類数
私大平均	2,332種	1,075種	3,408種
総平均	3,218種	1,798種	5,016種
私大C平均	2,262種	797種	3,060種
本学	5,224種	705種	5,929種

表9-7 本学図書館の蔵書の和洋分類別統計

(2002年12月2日現在)

## 1) 和書日本十進分類表新訂9版による分類別蔵書統計

和書類別	冊数	蔵書比率1	蔵書比率2
0 総記	18,058	6.2%	7.6%
1 哲学	19,735	6.8%	8.3%
2 歴史	20,004	6.9%	8.4%
3 社会科学	62,442	21.6%	26.1%
4 自然科学	17,749	6.1%	7.4%
5 工学	16,460	5.7%	6.9%
6 産業	6,319	2.2%	2.6%
7 芸術	13,741	4.7%	5.8%
8 語学	11,831	4.1%	5.0%
9 文学	52,563	18.2%	22.0%
研究費購入資料(教員長期貸出資料)	27,454	9.5%	
未分類	22,981	7.9%	
合計	289,337	100.0%	100.0%

## 2) 洋書Dewey decimal classification edition 21による分類別統計

洋書類別	冊数	蔵書比率1	蔵書比率2
0 Generalities	8,894	8.5%	10.5%
1 Philosophy & psychology	6,095	5.8%	7.2%
2 Religion	3,519	3.4%	4.1%
3 Social sciences	16,944	16.2%	20.0%
4 Language	9,457	9.0%	11.1%
5 Natural sciences & mathematics	3,081	2.9%	3.6%
6 Technology (Applied science)	5,227	5.0%	6.2%
7 Arts Fine and decorative arts	3,031	2.9%	3.6%
8 Literature & rhetoric	23,819	22.7%	28.1%
9 Geography & history	4,783	4.6%	5.6%
研究費購入資料(教員長期貸出資料)	8,271	7.9%	
未分類	11,616	11.1%	
合計	104,737	100.0%	100.0%

\*未分類とは、本統計作成時に分類番号が付与されていない資料をさす。

\*蔵書比率2は、蔵書比率1の研究費購入資料、未分類を除外した計算結果である。

表9-8 本学図書館の蔵書の分野別蔵書比率

(2002年12月2日現在)

分野	合計冊数	蔵書比率1	蔵書比率2
総記	26,952	6.8%	8.3%
哲学・宗教	29,349	7.4%	9.1%
歴史	24,787	6.3%	7.7%
社会科学	79,386	20.1%	24.5%
自然科学	20,830	5.3%	6.4%
技術	19,073	4.8%	5.9%
産業	8,933	2.3%	2.8%
芸術	16,772	4.3%	5.2%
言語	21,288	5.4%	6.6%
文学	76,382	19.4%	23.6%
研究費購入資料(教員長期貸出資料)	35,725	9.1%	
未分類	34,597	8.8%	
合計	394,074	100.0%	100.0%

\*本表は、分野別の蔵書比率を見るために、表9-7の洋書部分を和書の分類体系に繰りこんで合計した結果

\*未分類とは、本統計作成時に分類番号が付与されていない資料をさす。

\*蔵書比率2は、蔵書比率1の研究費購入資料、未分類を除外した計算結果である。

本学の蔵書の和書・洋書の区分は表9-7に示すとおりである。この表は、和書についてはNDC(日本十進分類法)を、洋書についてはDDC(Dewey decimal classification)を分類基準とする統計処理の結果である。表9-8は表9-7の内の洋書の表を、多少の無理を承知で和書の分類体系の側に繰り込んで、本学の分野別図書の収集状態を示したものである。文学と社会科学関係の蔵書が多い。これは本学の歴史を反映した結果で、専門分野別に蔵書を見れば偏りのあることは否めないが、新学部、新学科の設置の過程で必要な図書の整備を行って来た。今後とも相対的に少ない分野の図書の拡充に配慮していきたい。

本学の視聴覚資料は、マイクロ資料が3,556点で、私大C平均(1,334点)、私大平均(1,658点)、総平均(1,887点)に比べ、群を抜いて多い。その他の視聴覚資料(カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、レコード、CD-ROM)は、私大C平均、私大平均、総平均に比べて各々出入りがある。それはこの種の資料は必ずしも図書館だけで所蔵管理する物とは限らず、したがって表記載の数値は、図書館所蔵のものに限ればこういう結果になるということを示している。(以上、表9-3参照)

表9-3 本学図書館の視聴覚資料所蔵数

	マイクロ資料	カセットテープ	ビデオテープ	CD・LD・DVD	レコード	CD-ROM
私大平均	1,658点	483点	1,698点	1,275点	842点	150点
総平均	1,887点	446点	1,536点	1,069点	710点	149点
私大C平均	1,334点	460点	1,757点	978点	489点	155点
本学	3,556点	413点	1,318点	317点	230点	479点

(図書館施設の規模等) ★127

本学図書館の総面積は 5,811 m<sup>2</sup> で、私大 C 平均 (4,043 m<sup>2</sup>)、私大平均 (4,423 m<sup>2</sup>) を大きく上回り、総平均 (5,008 m<sup>2</sup>) をも上回っている。(以上表 9-1 参照)

機器・備品の整備状況については、マイクロリーダー、テープレコーダーの台数は平均並みであるが、ビデオプレイヤーと CD・LD・DVD プレイヤーは平均より少ない。しかし、2002 年度からは機器の段階的整備を行っており、現時点ではビデオプレイヤー5 台、CD・DVD プレイヤー8 台となっている。来年度も順次増設の予定である。(以上表 9-4 参照)

表9-4 本学図書館の視聴覚機器保有台数

	マイクロリーダー	テープレコーダー	ビデオレコーダー	CD・LD・DVDプレイヤー
私大平均	2台	6台	14台	12台
総平均	2台	6台	13台	11台
私大C平均	1台	7台	14台	12台
本学	3台	5台	3台	4台

(図書館利用者に対する利用上の配慮の状況) ★128

本学の座席数は 414 席で、私大 C 平均 (434 席)、私大平均 (466 席)、総平均 (468 席) のすべてを下回っているが、学生定員という観点を導入した座席比率の目安(いわゆる「収容定員の 10%の目安」)は越えている。(以上表 9-1 「大学図書館の実態」参照)

本学の開館日数は 252 日で私大 C 平均 (255 日) より 3 日少なく私大平均 (250 日) より 2 日多い。総平均 (252 日) と同一である。また、本学図書館の通常開館時間は、午前 8 時 45 分から午後 4 時 45 分までであるが、これでは不十分なので、本学では 1994 年度から午後 7 時までの開館時間延長を実施してきた。本学の時間外開館総時間は 347 時間で、私大 C 平均 (521 時間)、私大平均 (525 時間)、総平均 (639 時間) より少ないが、本学は比較的遠方の自宅から通学する学生の多い女子大であるところから遅くまで居残る学生が少なく、これ以上の開館時間延長は実質的な意味をもたない。(表 9-5 参照)

表9-5 大学図書館の開館状況

	年間開館日数	時間外開館総時間	休暇中の開館日数 (夏期)	休暇中の開館日数 (春期)
私大平均	250日	525時間	28.6日	23.5日
総平均	252日	639時間	30.0日	21.8日
私大C平均	255日	521時間		
本学	252日	347時間	22.0日	40.0日

図書館ネットワークは、1996年度からホームページを開設し、Webによる資料検索システムも稼働させてきた。本学のホームページ開設による情報公開は他大学にさきがけるものであった。(金城学院大学図書館ホームページ <http://opc.kinjo-u.ac.jp/> 参照)

その他の配慮としては、貸出冊数を1999年度から2冊から5冊に変更し、より多くの資料を借り出せるようにし、利用者の便宜を図るとともに、資料の有効利用を進めた。(表9-6参照)

表9-6 大学図書館の閲覧状況

	館外貸出冊数	図書館相互協力 (図書借受)	図書館相互協力 (図書貸出)	図書館相互協力 (複写依頼)	図書館相互協力 (複写受付)
私大平均	21,151冊	59冊	66冊	667件	950件
総平均	21,383冊	95冊	110冊	1,220件	1,595件
私大C平均	22,164冊	62冊	64冊	639件	666件
本学	21,884冊	115冊	3冊	666件	665件

(学術情報の処理・提供システム) ★129

本学では20年前(1982年)から蔵書データの電子化に取り組んでおり、現在では全蔵書の99%のデータ電子化が完了した。現代の図書館は、大学図書館はいうに及ばず、公共図書館までも一見して情報検索ができるシステムを備えているかのように見えるが、所蔵図書資料全体の完全な情報検索が可能になっている図書館は多くない。

私立大学図書館協会東海地区協議会に所属する大学図書館48校のうち、和書20万冊以上を所蔵する大学図書館は10校で、その10校の内、ほぼ完全な全資料検索を実現している(つまり全目録情報の電子化を完了している)大学図書館は、本学図書館以外には2校しか存在しない(残り7校の電子化率平均は71%。2001年現在、私立大学図書館協会東海地区協議会調べの資料による)。情報検索が可能だと称する大学図書館の多くは、情報検索ができるのは、過去10年分くらいの図書までであるのが普通で、それ以前の図書を検索するには図書カードを繰って検索しなければならないというのが現状である。公共図書館の現状も、また変わらない。

本学は全目録情報の電子化を達成し、これによってホームページから、自館資料の完全な情報検索を可能にしている。

また本学図書館ホームページからは他大学図書館の資料検索も可能で、利用者にさまざまな学術情報を提供している。2001年度からは携帯電話による情報提供(お知らせ・開館日案内・ベストリーダー・蔵書検索・個人情報確認)も実施し、利用者の便宜を図っている。( <http://opc.kinjo-u.ac.jp/imode/> 参照)

国立情報学研究所(NII)の総合目録データベースへの所蔵情報登録は、学術雑誌については100%完了しているが、図書データについては登録が数パーセントであり、今後登録を計画し、実施の予定である。

その他、FirstSearch、日経テレコン 21、NACSIS-IR、朝日新聞、JOIS、MAGAZINEPLUS、Biography などの有料データベース、および、一部であるが電子ジャーナルの提供も行い、利用者の情報要求に対処している。

国内外の他大学とのその他の協力としては、国内については図書館相互協力により資料の複写・貸出を実施している。資料の借受、文献の複写については私大平均並みの件数であるが、資料の貸出が少ないのは、国立情報学研究所（NII）の総合目録データベースに本学の所蔵情報登録が少ないことと関係しているようである。

2003 年度から国立情報学研究所の Global ILL を利用し、海外の図書館との協力を行っていく予定である。